

学校選択制度と区立中学校の紹介

台東区では、中学校において生徒それぞれがもつ個性を生かすことができる『魅力ある学校づくり』を進めており、平成15年度から、新入学児童を対象に区立中学校を自由に選ぶことができる『学校選択制度』を実施しています。

この制度は、お子さんの興味や関心に合った中学校をご家庭で話し合っただき、自ら希望する学校に入学することにより、積極的に学習し伸び伸びとした学校生活を送れるようにすることを目的としています。

1. 対象となる方

令和元年10月1日現在おおよそ新入学前までに区内在住の方で、令和2年4月に中学校に入学する新1年生全員とその保護者

2. 選択できる学校

区立中学校全7校の中から1校のみ選択できます。

学校選択の流れ



※注1 変更期間後の選択校の変更はできません ※注2 選択状況により抽選を実施する場合があります ※注3 就学通知書は1月上旬に郵送します

令和2年4月に中学生になる皆さんに各中学校からのメッセージ

御徒町台東中学校

本校は交通の便が良く、人情味豊かな多くの地域の方々に見守られている「安心・安全」な学校です。また、ここ数年の取組が評価され、平成31年3月に、東京都教育委員会より「生徒の体力向上推進優秀校」として表彰されました。

学力向上面では、①習熟度別少人数授業、②ティームティーチングによる一人一人を大切に授業、③放課後や夏休みの「学力アップ教室」、④夏休みに霧ヶ峰学園で行う「勉強合宿」、また、教員との心のつながりを大切に「生活ノート」や「家庭学習ノート」の取り組みを行っています。写真は昨年度の運動会の開会式の写真です。今年度もさらなる体力向上に取り組んで参ります。

柏葉中学校

一人一人が輝く柏葉中を目指しています。挨拶がこだまする柏葉中は素敵だと思えます。目指す学校にするためには、生徒と職員、生徒相互の理解と信頼のもと、生徒が存在感、成就感を得られる教育を行っています。学習面では、教科教室型教育とICT機器を活用した授業を日常的に行っています。先生と学ぶ放課後学習（柏葉アカデミー）も学力向上に役立っています。学習、行事、課外活動のそれぞれにバランスよく力を結集できる生徒がたくさん学んでいます。すべては生徒の成長のために、保護者も地域も協力してくれる、地元で愛された学校です。写真は合唱コンクールの様子です。

上野中学校

本校は、徳川将軍家の菩提寺、寛永寺に隣接し、長い歴史と伝統が息づく中学校です。近隣には世界文化遺産に登録された国立西洋美術館を擁する上野公園の豊かな自然と多くの文化施設があり、恵まれた環境を日々の学習で活用しています。落ち着いた環境の中、生徒は明るく率先して「いつでも・何処でも・何度でも」大きな声で自分から挨拶をしています。本校では、幅広く特色ある教育を推進するとともに、「一人一人の能力を最大限に引き出す教育」を目指しています。写真は昨年開催した浅草公会堂での「第6回上中音楽祭」で吹奏楽部の伴奏で「明日という日」を全校生徒で合唱したときのものです。今年度も本校の学校文化をさらに高めます。

忍岡中学校

本校は「義務教育の最終段階の生徒の姿に責任をもてる学校」を重点目標に掲げ、「世のため、人のためという高いところざしをもち、社会に貢献しながら自己の持ち味を生かそうとする生徒の育成」を目指しています。学習面では、授業規律の徹底、基礎・基本の確実な修得に向けて「授業における心構え7」「朝学習（25分間の静寂）」等に、生活面では、当たり前前を当たり前前にできるようにすることに力を入れています。校訓は「白梅精神」。白梅は、寒く厳しい冬を越え、春に清浄な花を咲かせる植物です。忍岡中学校でさまざまな困難を乗り越え、自分だけの素敵な花を咲かせてみませんか。

写真は生徒全員が全力で取り組む体育大会の様子です。

浅草中学校

自らのよき点を伸ばし、互いを尊重し夢に向け努力する生徒と、常に生徒に寄り添い愛情を注ぐ教員、生徒のために気を配る職員やPTA、地域の方々、これらが浅草中を作っています。本校伝統の「浅中しぐさ」のひとつが「心の編み目を細かくして」、人に対するこまやかな心遣いを表しています。このようなことが実現できるのが今の浅草中です。また、勉強では、ジョイスタ（放課後学習室）、水曜補充・発展学習、勉強合宿、さらには教科コンテストでは満点を狙って全校で取り組みます。部活動では各面で優秀な成績を残しています。あなたも一緒に浅草中で成長しましょう。写真は30年度夢☆未来プロジェクト「ブラインドサッカー教室」の様子です。

桜橋中学校

本校は、確かな学力の定着を図るため、毎日の授業を大切にしています。そのため、朝学習・朝学まめテスト、放課後学習教室、夏休み補習教室などを行っています。心づくりの一環としては、道徳授業の充実・人権尊重教育の授業や、ボランティア活動、介護施設・福祉作業所でのいれあい体験学習、流山農作業の体験学習等を行っています。また、楽しい行事（運動会・文化祭・校外学習等）もたくさんあり、部活動も活発で、一人ひとりが充実した学校生活を送っています。毎日、生徒の元気な明るい声が満ちあふれた活発な中学校です。写真は、校庭で運動会の練習に取り組んでいる様子です。

駒形中学校

本校は、まごころざしの高い生徒
まが学び続ける生徒
まが我慢できる生徒
まが他を思いやる生徒

をモットーに、生徒一人一人が居場所を感じ、輝くことができるよう、個性・能力を伸ばし、これからの社会を生かす力を育成するとともに、互いに高め合う心豊かな生徒を育成する学校です。授業では、タブレット等のICT機器を活用し、生徒の興味・関心を引き出し「確かな学力」を育成します。運動会や文化祭、合唱コンクールなどの学校行事では、「駒形魂」で盛り上げられます。写真は合唱コンクールの様子です。「駒形魂」が輝く瞬間です。

より各中学校を知っていただくために

【7月】学校案内冊子の配布
【8月】台東ケーブルテレビの放映
【9月】学校公開

※見学のできる学校行事も行っております。
詳しくは学務課学事係にお問合せいただくか、台東区公式ホームページをご覧ください。

- 台東区公式ホームページ
トップページ>暮らしのガイド>教育・青少年育成>区立小中学校のご案内>中学校選択制度
- お問合せ先
学務課学事係 ☎5246-1412

リレートーク 連載 30

学級園を活用した栽培活動やお魚授業

古谷 尚律 (台東区立金竜小学校 校長)

金竜小学校の特色のひとつは、ビオトープのほか広い学級園(各学年・幼稚園の畑)と水田があることです。こうした環境を活用して、5年生では米作りを行っています。田植えのほか、刈り取り、もみ取りなど、農業アドバイザーの指導のもとで行っています。自分たちで育てた米は「金竜米」と呼んで、調理実習で利用しています。今年度は台東区と姉妹都市の大崎市より「ささ結」の苗をいただき、育て始めています。早速田植えを行いました。どれだけ収穫できるか今からとても楽しみです。4年生は地域の方の協力により、数年前から和綿の栽培を行っています。できた和綿は簡単な製品にして、保護者へのプレゼントにしています。今年は同じように和綿を栽培している熊本県の学校と交流をしながら進めています。今やっと芽が出始めたところです。これからの生長が楽しみです。ほかにも、お魚を利用した食育活動を1年生から6年生まで行っています。講師の先生方のご協力により、1・2年生はお魚を使って鯛の中から鯛の形に似ている骨をさがす体験。3年生は七輪で火おこし、魚を焼いて食べる体験。4年生は育てた大根を使ってぶり大根作り。5年生はカツオの一本釣り体験と、出汁の味見体験。6年生は卒業を祝っての鯛めし作りを行っています。このような体験を通して、食材の大切さを学んでいます。そのおかげか、給食の残菜量がとても少ないことはとてもうれしいことです。恵まれた環境の中で「心も体も健康な金竜の子」に育ててくれることを期待しています。